

相談窓口の現場で ● 地域包括支援センター

「杖が欲しい」「デイサービスに行ってみよう」と、生活全般についてのご相談をお受けしています。時にはより生活に即した支援を行うため、厚田では自宅訪問も行います。認知症などが重症化して、もうどうしようもないほど困って…となる前にこちらで気付いてあげて、ご本人にとって本当に必要なことは何かを見つけてあげたい、相談に乗ってあげたいというのが私たちの願いです。

一方で、「まだ役所の世話にはなりたくない」という方もいます。そういつて頑張る姿を見ると、本当に素晴らしいと思います。そんなときは地域の皆さんの協力を得て、私たちはそつと見守ることにしています。例えば気になる高齢の方がいると

き、私たちはご近所の方に「最近、お元気な姿を見ましたか」と尋ねます。民生委員さんもとて熱心で、地域をしっかりと見回ってくださるので、支援の必要な方がいればすぐに知らせてほしいとお願ひしています。

厚田で行う「脳の健康教室」「いきいきリハビリ」などの介護予防事業には、地域のボランティアさんも参加していますが、会場ではよくそのボランティアさんが高齢者の方に声を掛けてくれます。ここで生まれたつながりは地域に戻ってからも続いているようで、本当にありがたいことです。

ボランテアといえ、買い物や送迎などで力を貸してください。近所の方もいます。そういう方が1人いるだけで、地域の高齢者の生活はまるで違うものになります。私たちは今、そうした地域のつな

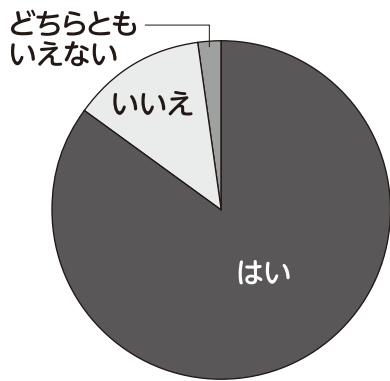
がり作りを重視して、昨年から「厚田地域包括支援センターだより」を発行し、いろんな方に読んでもらえるようお盆時期などに区内で回覧してもらっています。まずはこの存在を知ってもらうことが目的ですが、いつか新たなつながりが生まれるように、紙面を通じて皆さんに呼びかけていきたいです。



厚田地域包括支援センター
保健師
富木 えり子

市民まちかどアンケート①

自分が認知症か、知りたいですか？



「いいえ」の答えは男性がほとんど



厚田地域包括支援センターでは、65歳以上の方を対象に自宅訪問を行っています。介護のこと、健康のことなど何でもご相談ください。

地域の皆さんの力を借りながら “頑張る” 高齢者を応援したい

相談例

- ・お風呂に入るのが大変になって困っている
- ・退院後の生活が不安
- ・自分にあった排せつ道具を教えてください
- ・運動がしたい
- ・悪質な訪問販売にひっかかってしまった!

高齢の皆さんの生活の中で起きる介護や福祉、健康、医療といったさまざまな問題を総合的に支えるために設けられたのが地域包括支援センターです。いつまでも住み慣れた地域で安心して、自分らしく生き生きとした生活を送ることができるお手伝いします。

- 南地域包括支援センター(花川南7・4花びりか内) ☎73・2221
- 北地域包括支援センター(花川北6・1りんくる内) ☎75・6100
- 厚田地域包括支援センター(厚田区厚田45・5厚田保健センター内) ☎78・1030
- 浜益地域包括支援センター(浜益区浜益2・3浜益支所内) ☎79・5111

高齢者の皆さん、なんでも聞いて!

地域包括支援センター

キャラバンメイト ● 認知症を知ってほしい



愛の家グループホーム石狩花川
管理者 介護支援専門員
一條 紀善

5年ほど前から認知症サポーター養成講座の講師をしています。私は市内にあるグループホームで働いていますが、そもそもグループホームが認知症の方のための施設であることを知らない方が多く、講座ではそうしたこともお伝えできればと取り組んでいます。

講座では、認知症の特徴や、それを引き起こす病気などからお話しします。それは認知症をより正しく理解してもらいたいからで、事実、認知症については誤解も多いのです。

例えば「人格が変わる」とか、「認知症になって分からなくなつたから幸せだ」というもの。でもそれは違います。一番苦しいのは認知症の方です。たとえ分からなくなつても、それで楽になるわけでは決してなく、むしろ分からないからこそ、いろんな苦しみがあり、不安を抱えて生活していま

す。その不安さから、人格が変わつたように見えることもあるでしょう。だからこそ「周りをもっとサポートしてあげよう」と講座ではお話ししています。

失敗したとき、「何しているの！」などと言われれば、本人のやる気は失われます。そうしているうちにできることもできなくなつてしまうケースは多々あります。でも声の掛け方一つでガラリと変わることもあつて、そういうことを皆さんには早くから知つておいてもらいたいです。

認知症は病気です。病気だから早期発見とケアが大切で、正しい対処をすれば認知症の進行も穏やかになります。だから若い方にもぜひ知つてほしいですし、すでに受講した方にも、講師が変われば——キャラバンメイトには私のようなグループホームの管理者

もいれば、居宅のケアマネジャーさんなどいろんな方がいますから——同じ話でもエピソードが違えば別な形で理解も深まるはずですよ。

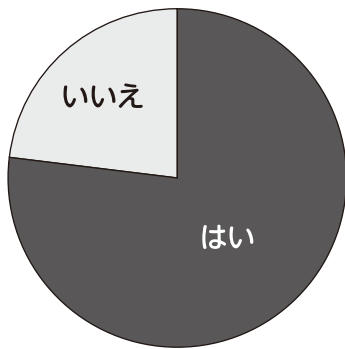
こうして市民の皆さんが認知症を理解し、ご家族はもちろんのこと、近所の方にも積極的に関わつて支え合つてもらえれば、誰もが自宅で、住み慣れたところで、長く生活していけるのかなと思います。



キャラバンメイトは、認知症の知識を有する、認知症サポーター養成講座の講師となるために研修を受けたボランティアの皆さんで、現在約30人の方が活動しています。

市民まちかどアンケート②

認知症の検査を受けて
みたいですか？



「知るのが怖い」というご意見も

住み慣れたまちでいつまでも暮らせるように みんなで認知症を正しく理解しよう

1月に開催します! この機会にぜひ

日時 1/17(火) 13時30分～15時30分
場所 花川北コミセン(花川北3・2)
講師 キャラバンメイト 工藤美和子さん ほか
定員 20人(申込順)
費用 無料
申込期限 1/10(火)
申込・問合せ 高齢者支援課 ☎72・7017

認知症についての正しい知識と対処方法を学び、認知症の方や家族を応援する「認知症サポーター」を目指す講座です。講師の「キャラバンメイト」は、市内のグループホームなどで勤務する、日ごろから認知症の方と接する皆さん。日々のエピソードや体験談などを交えて分かりやすくお話しします。

キャラバンメイトが
講師です!

認知症
サポーター
養成講座